

養護教諭

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

[1] 次の(1)～(5)に答えなさい。

(1)「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」(平成27年8月 日本学校保健会)に示されている、視力検査について一部抜粋したものである、①～⑦に当てはまる語句や数字をそれぞれ書きなさい。

- ・ 国際標準に準拠した(①)を使用した視力表の0. 3, 0. 7, 1. 0の視標を使用する。
- ・ 視力表(視標)は、原則(②)m用を使用する。
- ・ 視標面の照度は(③)～(④)ルクスとする。
- ・ 眼の高さと視標の高さはほぼ等しく、視標は視線に対し(⑤)に提示する。
- ・ はじめに(⑥)の視標から開始するのを原則とする。
- ・ 眼科への受診を勧める基準は以下のとおりとする。
児童生徒は、左右どちらか片方でも(⑦)未満であるものに受診を勧める。

(2)「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」(平成27年8月 日本学校保健会)に示されている、健康診断実施上の留意点について、文中の①～⑥に当てはまる語句を下のア～スの中からそれぞれ一つ選び、記号を書きなさい。

ウ プライバシーの保護及び個人情報の管理

健康診断は、児童生徒等が(①)を理解するとともに、保護者や教職員がこれを把握して適切な指導や(②)を行うことにより、児童生徒等の(③)を図るものである。その際、検査等を実施する方法や(④)、ついたてなどの物や人の(⑤)などを工夫したり、(⑥)や記録を児童生徒等にさせて他の児童生徒等に結果が知られたりすることなどのないよう、児童生徒等のプライバシーの保護に十分な配慮を行わなければならない。また、結果の処理や活用の際に、個人が特定される情報が外部に漏れたりすることのないよう、健康診断票等の個人情報の管理に十分配慮しなければならない。

- ア 計測 イ 健康課題 ウ 配置 エ 支援 オ 補助 カ 健康の保持増進
キ 並び ク 発達段階 ケ 役割分担 コ 事後措置 サ 指示 シ 自分の健康状態
ス 教育的効果の向上

- (3) 次の文は、「『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」(平成31年3月 文部科学省)に示されている、「救急及び緊急連絡体制」の一部である。文中の①～⑧に当てはまる語句を下のア～タの中からそれぞれ一つ選び、記号を書きなさい。

学校において事故等が発生した場合には、児童生徒等の(①)や通報など、必要な措置を行うとともに、速やかに適切な応急手当が行われなければならない。応急手当は、傷病の(②)を防ぎ、引き続いて行われる(③)の有効性を高めるための手当であり、傷病者の(④)を緩和する効果もある。応急手当には、(⑤)や正確さが要求される。よって、応急手当が適切に行われるためには、学校全体の救急及び緊急連絡体制が確立されている必要がある。

また、AEDについてはインジケータのランプの(⑥)や表示により、AEDが正常に使用可能な状態を示していることを(⑦)に確認するなど、適切な管理が必要である。加えて、(⑧)が様々な状況や傷害等に対する応急手当の手順と技能を習得していることが求められる。

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|---------|--------|---------|
| ア 進行 | イ 救急搬送 | ウ 苦痛 | エ 専門的処置 | オ 養護教諭 | カ 周囲の協力 |
| キ 日常的 | ク 点灯 | ケ 状況確認 | コ 心理的不安 | サ 迅速さ | シ 安全確保 |
| ス 全教職員 | セ 点検日 | ソ 悪化 | タ 色 | | |

- (4) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月)の「第2章各教科 第7節保健体育 第2 各学年の目標及び内容 【保健分野】 2内容」についての一部である。下線部①～⑤の記述が正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

(オ) 感染症は、①ウイルスが主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、②発生源をなくすこと、感染経路を③防止すること、主体の④体力を高めることによって予防できること。

(カ) 健康の保持増進や疾病の予防のためには、⑤学校や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用すること。

- (5) 傷病者の救命処置について、次の①～③に答えなさい。

① 全身の血液循環が障害されて血圧が低下するとショック状態になる。このときの症状の一つとして、目がうつろになったり、表情がぼんやりとして反応が鈍くなったりといった虚脱状態がある。このほかに現れる症状を5つ書きなさい。

② 文中のア～オに当てはまる語句や数字をそれぞれ書きなさい。

突然の(ア)直後に、(イ)と呼ばれるしゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸がみられることが少なくない。このような呼吸がみられたら(ア)と考えて、直ちに(ウ)を開始する。呼吸の観察には(エ)秒以上かけないようにする。判断に迷う場合は(オ)の呼吸がない、すなわち(ア)とみなす。(ア)でない人に(ウ)を行ったりAED(自動体外式除細動器)を装着したりしても大きな問題は起こらない。

③ AED(自動体外式除細動器)の電極パッドを貼り付ける際に、電気ショックの効果が十分得られるように、傷病者の状況について確認すべきことを3つ書きなさい。

[2]「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引—令和3年度改訂—」(令和4年3月 日本学校保健会)に示されている、健康相談における「支援検討会議(事例検討会)」の目的を3つ書きなさい。

[3] 食物アレルギーの対応推進のために、学校では、校内に食物アレルギー対応委員会を設置することが重要である。学校全体で組織的に取り組むための、食物アレルギー対応委員会の役割を4つ書きなさい。

[4] 次の事例について、下の(1)、(2)に答えなさい。

中学校1年生の女子生徒Aさんは、入学当初から月経前に腹痛、頭痛を訴えてたびたび保健室に来室することがあった。症状が重いときは、嘔吐や過呼吸が見られることもあり、体の不調が辛いと泣きながら訴えることもあった。Aさんの話から、これらの症状は月経がはじまると落ち着くことがわかった。

(1) Aさんの様子から、疑われる疾患は何か。

(2) Aさんが疾患について理解を深め、症状に応じた生活ができるようにするため、養護教諭としてどのような保健指導をするか。具体的に書きなさい。

[5] がん教育について、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1)「学校におけるがん教育の在り方について(報告)」(平成27年3月「がん教育」の在り方に関する検討会)に示されている、がん教育の目標を2つ書きなさい。

(2)「科学的根拠に基づくがん予防」(2024年11月 第3版 国立がん研究センター)に示されている、がん予防の「5つの健康習慣」には、「食生活を見直す」の他に何があるか、4つ書きなさい。

(3) (2)の「食生活を見直す」において示されている予防法を3つ書きなさい。

養護教諭 解答用紙 (解答例)

[1]

(1)	①	ランドルト環	②	5	③	500	④	1000
	⑤	垂直	⑥	0.3	⑦	1.0		

(2)	①	シ	②	コ	③	カ	④	ケ
	⑤	ウ	⑥	オ				

(3)	①	シ	②	ソ	③	エ	④	ウ
	⑤	サ	⑥	ク	⑦	キ	⑧	ス

(4)	①	病原体	②	○	③	遮断
	④	抵抗力	⑤	個人		

(5)	①	脈が弱くなる	顔面蒼白	呼吸切迫
		冷感	冷や汗	
	②	ア 心停止	イ 死戦期呼吸	ウ 胸骨圧迫
		エ 10	オ 普段どおり	
	③	胸が濡れていないか	胸に貼り薬がないか	胸に埋め込まれた医療器具によるでっ ぱりがないか

[2]

- ・児童生徒理解・問題理解を深め、よりよい支援の方法を考える。
- ・教職員間の共通理解を図り、効果的な連携を行う。
- ・健康相談の実践力の向上を図る。

[3]

- ・校内の児童生徒等のアレルギー疾患に関する情報を把握し全教職員と共有する。
- ・校内の対応方針やマニュアルについて決定し全教職員と共有する。
- ・関係機関と連携し、支援体制や救急体制を整備する。
- ・校内研修を計画し実施する。

[4]

(1) 月経前症候群

(2)

生理前になると、イライラや憂うつ、頭痛、腹痛などの様々な心身の症状が現れ、生理開始とともに治まっていく病気であることを説明する。症状が軽いときは、バランスの良い食事や運動、十分な睡眠など、規則正しい生活習慣を心がけることや、気分転換やリラックスする時間をつくること、症状の記録をつけること、症状があるときは保健室を利用して良いことを伝える。また、辛い症状が続くときは、婦人科等の専門の医療機関を受診するよう勧める。

[5]

(1)

- ・がんについて正しく理解できるようにする。
- ・健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。

(2) 禁煙する。 節酒する。 身体を動かす。 適正体重を維持する。

(3)

減塩する。 野菜と果物をとる。
熱い飲み物や食べ物は冷ましてから口にする。